

# 競技注意事項

1 本大会は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会申し合わせ事項によって実施する。

2 本大会は、(公財)日本陸上競技連盟広告規程を適用する。

3 練習について

(1) 練習は、プログラム記載の指定された会場で、日程に従い実施すること。

(2) 各会場内での練習は競技役員の指示に従うこと。

4 招集について(トラック・フィールド共)

(1) 招集所は、競技場第2ゲート外側付近(100mスタート外側)に設ける。

(2) 招集完了時刻は競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

競技者は招集開始時刻に招集所で待機し、最終点呼を受けること。その際、アスリートビブス・衣類・シューズ・商標等の競技場内への持ち込み物品の点検を受けること。

競技	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始 30分前	競技開始 15分前
フィールド競技	競技開始 50分前	競技開始 40分前
棒高跳	競技開始 90分前	競技開始 80分前

(3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなして処理をする。

(4) 代理人による点呼は認めない。2種目を同時に兼ねる競技者は、「2種目同時出場届」(競技者係に準備)を競技者係に提出し、競技の進行に支障のないようにすること。

(5) リレーのオーダーは、第1組の招集完了時刻の60分前までに、オーダー用紙を競技者係に提出すること。

5 競技について

(1) セパレートレーンのトラック競技においては、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走り、他競技者の妨害をしないこと。

(2) スタートコールは、「イングリッシュコマンド」で行う。

(3) 不正スタートは、(TR16.6)による。

(4) スパイクシューズのスパイクは全天候舗装用とし、スパイクの数は11本以内とし、その長さは9mm以下とする。ただし走高跳・やり投は12mm以下とする。

(5) トラック競技におけるレーン順およびフィールド競技における試技順はプログラム記載順による。

(6) トラック競技は衣類運搬を行わない。選手はメ第1ゲート(フィニッシュ側)からメインスタンド外側か、競技場内のバックスタンド側を通して自分のスタート地点に戻る。退場は、第1ゲートから退場する。

(7) 男子・女子走幅跳、及び男子三段跳は3回目まではA・Bピットで行い、4回目以降の試技もピットを変えずに行う。

(8) 三段跳の踏切板は、男子は砂場から13m、女子は9mの位置に設置する。

(9) バーの上げ方について

①走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、次のとおりとする。

種目	練習	1	2	3	4	5	6	以後
走高跳(男子)	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	2m05	2m08	3cmずつ
走高跳(女子)	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	1m69	3cmずつ
棒高跳(男子)	任意の高さ	4m00	4m20	4m40	4m60	4m70	4m80	10cmずつ
棒高跳(女子)	任意の高さ	2m10	2m20	2m30	2m40	2m50	2m60	10cmずつ

②天候、その他の特殊条件によって変更する場合のバーの上げ方は、審判長が決定する。

③棒高跳の公式練習はゴムバーを使用する。練習は1回とする。

## 6 競技用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は主催者が用意したものを使用すること。
- (2) 投てき用具については個人所有のものを持ち込みを認めるが、競技開始60分前までに第3ゲート付近用器具庫の検査所において、検査申請書に記入し検査を受け、合格したものに限り使用することができる。その場合、合格したものは主催者が預かり、出場者全員が使用できるものとする。競技終了後同場所で返却する。
- (3) 棒高跳のポールについては個人所有のものを使用できるが、競技開始前に跳躍ピットにおいて競技役員が検査を行う。
- (4) 棒高跳ポール発送の受付は行わないので、各自で対応すること。

## 7 アスリートビブスについて

- (1) 別番号で主催者が用意する。  
鳥取 1～199                      島根 201～399                      岡山 401～599                      1401～  
広島 601～799                      山口 801～999
- (2) トラック競技に出場する競技者及び4×100mRの4走者、4×400mRの2走者～4走者は、腰ナンバー標識を右腰につけること。腰ナンバー標識は、招集時に競技者係より受け取る。また、男女5000m、5,000mW、男子10000mは胸・背も別アスリートビブスを着ける。招集時に競技者係より受け取り、フィニッシュ地点で返却すること。

## 8 競技方法

- (1) 県対抗とする。(男女の合計点により県の順位を決定する)
- (2) 各県上位2名で、8位までに入賞した者の得点合計とする。
- (3) 得点は、リレーを含め1位8点、2位7点・・・以下8位1点とする。
- (4) 走幅跳と三段跳において、招集完了時点で出場競技者が24人以下の場合、1ピットで実施する場合がある。
- (5) 400mHと800mはタイムレース決勝とし、番組編成は参加資格記録をもとにランキング下位者から順に行う。
- (6) 番組編成は、各県対抗であるが参加資格記録のみで行う。

## 9 表彰について

- (1) 各種目3位までの入賞者に賞状とメダルを授与する。
- (2) 表彰は決勝結果アナウンス後直ちに行うので、3位までの入賞者は速やかにメインスタンド玄関ホール表彰者控所に集合すること。多種目出場等で表彰に出られない場合は、必ず代理人を出すこと。
- (3) 最優秀成績者若干名に優秀選手賞を授与する。

## 10 諸届出について

- (1) 抗議申立書は、陸上競技規則 (TR8) によって担当総務員に提出すること。

## 11 棄権について

- (1) 競技会の円滑な運営のため、競技者は棄権を極力避けること。
- (2) やむを得ず棄権をする場合は、必ず「欠場届」を大会総務に提出すること。

## 12 競技者が走行不能 (即ち歩いたり、立ち止まったり、倒れた状態) となった場合は、本人がなお競技続行の意思をもつて

いても、審判長(または権限を委譲された審判員)から中止を命ぜられた場合は、直ちに競技を中止しなければならない。

## 13 その他

- (1) 発病、負傷に対しては、応急処置以外の責任は負わない。医務室はメインスタンド1階に設ける。
- (2) 貴重品は自分の責任において保管すること。
- (3) 雨天練習場の利用は一方通行とする。また、競技開始後の出入りは北側出入口のみとする。
- (4) 競技場外のジョギングコースは、スパイクの使用、ハードルの設置及び逆走は禁止する。あくまでも、一般利用者優先のため、注意して使用すること。
- (5) 本大会の各種目1位は、必ずしも日本選手権の出場権を得るものではない。
- (6) 競技場内へのビデオ・携帯電話・ヘッドホンステレオもしくは類似の機器の持ち込みを禁止する。
- (7) ゴミはゴミコンテナに捨てる。
- (8) 競技場内は「全面禁煙」です。